

病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ニセナシサビダニ No.5)

令和2年6月26日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

6月下旬現在、ニセナシサビダニの発生時期はやや遅く、発生量はやや少ない。

2. 情報の根拠

- (1) 6月中旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は616.4頭（平成：1,319.2頭）で、発生量はやや少ない（表1）。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、発生量は平年に比べてやや少ないと予想される。

表1 ニセナシサビダニの発生活長（園芸試験場）

月・旬	本年	平年
5・上	0	2.8
5・中	0	10.7
5・下	0.8	67.3
6・上	102.8	414.7
6・中	117.6	1,139.6
6・下	616.4	1,319.2

注) 殺ダニ剤無散布ほ場、1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 密度増殖が著しい種（ハダニ類、サビダニ類など）は、発生初期の防除（初期密度の低い時点での防除）が重要である。また、ニセナシサビダニ被害の多少は新梢停止期の早晩の影響が大きい。
- (2) 新梢の停止期が遅く、ニセナシサビダニの被害が増加するような場合は、追加防除を行う。

(参考)

防除区（5月24日・6月17日にハチハチフロアブル2,000倍液を散布）におけるニセナシサビダニの発生活長

表2 ニセナシサビダニの発生活長（園芸試験場）

月・旬	防除区	無散布区
5・上	0	0
5・中	0	0
5・下	0.2*	0.8
6・上	0.2	102.8
6・中	1.8*	117.6
6・下	0.4	616.4

注) 1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

*：防除前のニセナシサビダニの密度

要約：6月下旬現在、防除区のニセナシサビダニの発生密度は低い。